

令和8年度 第1回 学校部活動の地域展開等に係る推進協議会（協議概要）

1 日 時 令和8年8月31日（月）14:00～

2 会 場 和歌山県民文化会館 大会議室



3 議 題

- （1）和歌山県における学校部活動の地域展開等の進捗について【報告事項】
- （2）和歌山県における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する次期方針について【協議事項】

4 委員による主な意見と事務局の説明（●＝委員 ○＝事務局）

（1）和歌山県における学校部活動の地域展開等の進捗について【報告事項】の質疑応答

- 実証事業での取組は説明で分かったのだから、それ以外の公設民営の形態のような地域クラブが立ち上がってきていると認識している。そういった地域クラブの様子で把握しているものがあれば紹介してほしい。
- 総合型地域スポーツクラブが中学生の受け皿となり、地域展開を進めている事例がある。当該クラブはこれまでも自治体や学校と連携して地域住民のスポーツ環境整備に貢献してきた経緯があり、地域展開も地域住民のスポーツ環境整備の一環として行われている。
- 各市町村の協議会設置状況が増加している中で、各市町村教育委員会が中心となって取組推進にあたっていると思う。県内で、部活動改革の業務に専属であたっている職員はいるのか。
- 県内で4つの自治体で配置されている。

（2）和歌山県における部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する次期方針について【協議事項】の質疑応答

<基本的な考え方・方向性について>

- 地域クラブ活動と部活動を組み合わせて行う、スポーツ・文化芸術活動の具体的なイメージが分かりづらいので、具体例やイメージ図を記載してほしい。

<地域展開の円滑な推進について>

- 市町村の地域展開は大変苦しい状況である。教育委員会だけでなく、首長部局も一体となって参画していくような内容を盛り込んでほしい。
- 現在、市町村は地域クラブ活動の認定制度の制度化に苦心しているところだと思う。各市町村の実情に合わせた要件を整えることに加えて、広域での取組となると近隣自治体との調整も必要になる。市町村担当者は大変困っていると思うので、市町村担当者に分かりやすく助けになるような内容を示してほしい。
- 広域的な取組については、種目によって競技人口も変わるので、様々な広域の形があっても良いのではないかな。

- 活動場所の確保について、学校が活動場所になるということであれば、地域の活動に使ってもらえるエリアと学校関係者以外入れない場所の線引きが必要であるが、学校のセキュリティについて現時点では一括になっており、学校関係者が最終確認をしなければいけない仕組みになっている。このことを解決するような内容もあればよいと思う。
- 地域クラブ活動への参加促進等のため、小学校との連携についてどう考えるか。
- 部活動改革の大きなポイントとして、世代や障害の有無に関わらずスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境整備をすることが挙げられる。このことから中学生だけでなく小学生の参加促進も重要であると考えている。
- 地域クラブ活動における運営団体と実施主体の体制整備について、わかりやすく示す必要がある。基礎自治体が運営団体の役割を担う可能性もあることや、運営団体と実施主体の階層が明確にわかるような内容にした方が良い。

＜地域クラブ活動の在り方について＞

- 国のガイドラインでは、学校部活動と地域クラブ活動が併存する段階では、指導の一貫性を確保するための連携の重要性が示されている。和歌山県では、このことをどのようにイメージするのか。
- 地域のこどもは地域で育てるという理念に沿って、学校と地域が一丸となって、学校部活動が培ってきた教育的意義を継承する活動を維持していくことが大切である。このことから、学校での活動と地域クラブ活動は指導理念の一貫性はもとより、生徒の健康安全や人間形成等に必要な情報等は共有できている状態であることが望ましい。
- 既存の地域クラブの考え方は様々であると思う。こどもに寄り添った指導をしてくれる団体もあれば、技術の向上を主目的に行っている団体もあるので地域クラブ活動の在り方を固めてもらうことが必要であると思う。
- バレーボールなどは、競技人口が一定数存在するが、競技によっては一律の対応が困難な状況もあることを踏まえた内容にしていきたい。